

大阪府三島保健医療協議会概要

日時：平成30年12月26日（月） 14：00～15：45
場所：茨木保健所 5階 大会議室

■議題（1） 副会長の選任について

会 長 木野委員（高槻市医師会長）
副会長 森山委員（茨木市歯科医師会会長）
石田委員（摂津市薬剤師会長）

<議事概要>

会長、副会長の選任について、承認。

■議題（2） 地域医療構想推進にかかる大阪アプローチについて

（資料に基づき、事務局（大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課）から説明）

- （資料1-1 2018年度「地域医療構想」の進め方
- 1-2 地域医療構想の推進にかかる質問と大阪府の考え方
- 1-3 平成30年度 基準病床数の見直しの検討について

■議題（3） 三島二次医療圏「地域医療構想」の推進状況・課題と今後の方向性について

（資料に基づき、事務局（茨木保健所）から説明）

- （資料2-1 三島二次医療圏「地域医療構想」現状と今後の方向性）
- 2-2 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）とアプローチ
（三島二次医療圏）
- 2-3 第2回病院連絡会結果の概要（三島二次医療圏）
- 2-4 第2回医療・病床懇話会の概要（三島二次医療圏）

（主な質問・意見等）

- 「病床数の必要量」と「基準病床数」の考え方は異なるのか。
- （三島圏域は慢性期病床が不足するとも見えるが）回復期病床から慢性期病床への移行を進めていくのか。
- 今後の病床機能分化に対する意見をまとめるのであれば（資料2-4）、病床機能報告の最終結果の分析を踏まえ三島二次医療圏の医療体制を分析した資料を提示し、意見をまとめるべきでないか。※

（主な事務局の回答）

- 「病床数の必要量」は、2013年度のレセプトデータ等をもとに将来人口の推計を加味して将来必要となる病床数を病床4機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）毎に試算したもので、「基準病床数」は、病床整備のための基準を示したもので、病床4機能毎の算出し

たものでない（そのため病床機能分化のための議論にはなじまない）。

○慢性期病床の整備には在宅医療の要素を加味する必要があるが、本指標は病床についての数値であり、在宅医療等の要素を反映したものとなっていない（そのため、在宅医療等の状況を踏まえた検討が必要）。

○本協議会では、（提示している）病床機能分化の割合を目標とすることの合意形成を目的としているのではなく、次年度以降の進捗管理に本指標を活用していくことについて承認を得たいと考える。

○次年度以降の検討の際には、三島二次医療圏の最新の医療提供体制を分析した資料を提示していきたい。

※資料２－４（第２回医療・病床懇話会の概要（三島二次医療圏））について、修正を求める意見があったため、会議後、修正案を作成し委員への意見照会の結果、承認。ホームページには修正後の資料を掲載。

■議題（４） ２０１９年度地域医療構想の進め方について

（資料に基づき、事務局（大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課）から説明）
（資料３ ２０１９年度「地域医療構想・医療計画」の進め方（案）について）

質問・意見等はなく、承認

■議題（５） 三島二次医療圏における第７次医療計画の取組状況の評価について

（資料に基づき、事務局（茨木保健所）から説明）
（資料４ ２０１８年度第７次大阪府医療計画ＰＤＣＡ進捗管理票三島二次医療圏）

質問・意見等なく、承認

■議題（６） その他

- ・地域医療支援病院の申請について
- ・各懇話会の議事概要について
- ・平成２９年度救急病院等の認定について

（資料に基づき、事務局（茨木保健所）から説明）

（資料５ 各懇話会の議事概要）

（資料６ 平成２９年度救急病院等の認定について）

質問・意見等はなし